

## 香りを創る

匂袋の原料は自然草木である漢方薬。その芳香成分は虫などを寄つせず、空気中の雑菌を浄化する役割を果たしています。このような森林浴で味わえる心地よさを、毎日の生活に取り入れてみませんか？「手作り匂袋」であなたのお好みの匂袋が簡単に作れます。

### 1. 原料（漢方薬）

写真	説明
	<p>丁字（ちょうじ クローブ）</p> <p>丁字の木の花蕾を乾燥させたものです。アフリカのザンジバル、ブラジルで栽培されています。芳香性健胃薬や鎮痛剤（歯痛止め）として広く使われています。</p>
	<p>桂皮（けいひ シナモン）</p> <p>ベトナムやスリランカで栽培されているクスノキ科の樹木の樹皮を乾燥させたものです。頭痛や発熱、のぼせなどに効果があり感冒薬や健胃（食欲増進）、解熱、鎮痛薬としてよく使われます。少し辛手で甘い香りが特徴です。</p>
	<p>大茴香（だいういきょう スターアニス）</p> <p>中国広東省で栽培されているモクレン科植物の果実を乾燥させたものです。香辛料として使われます。体を温める作用があり、その他に健胃、鎮痛剤にも配合されている香りの良い漢方薬です。</p>
	<p>老山白檀（びやくだん サンドルウッド）</p> <p>インドのカルナタカ州で栽培されている香木で、爽やかな甘い芳香が特徴です。サントロールという主成分に薬効があり、健胃、鎮痛薬、又、気分の薬として、胸のつかえをとり、爽快感を与えます。</p>
	<p>龍脳（りゅうのう カンファー）</p> <p>中国江南の各省や台湾で算出する透明結晶状の樹脂で、クスノキから水蒸気蒸留で抽出します。清々しいクールな芳香が特徴です。防虫効果があり、着物や書画骨董の虫よけに使われます。また、外用薬として打撲傷の消炎や、嗽薬にも配合されています。書道用の墨にも配合され、その芳香は気分を爽快にします。</p>

（難波恒雄著 原色和漢薬図鑑より）

## 2. 香りの合わせ方（調合）

### 《作り方》

- (イ) 最初に、それぞれの漢方薬の香りを確かめます。あなたのお好みに合わせて、香りの強弱、性質を見ます。
- (ロ) 各種の漢方薬を小匙1杯を基準に計量し、混ぜ合わせます。参考のため基本的な下記の目的別の調合表をご覧ください。

材料名	調合 1	調合 2	調合 3	調合 4
老山白檀	小匙 1 杯	小匙 1 杯	小匙 2 杯	小匙 2 杯
桂皮	1 杯	1/2 杯	2 杯	1 杯
丁字	1/2 杯	1 杯	少々	-
大茴香	-	1/2 杯	少々	-
龍脳	1 杯	1/2 杯	1/2 杯	2 杯

【調合 1】オーソドックスな匂袋の香調です。普段の持ち歩きや引き出しに入れてお使いください。

【調合 2】丁字の効いた特徴ある香調です。少し大きめの袋で玄関や手洗いに置いても香りが楽しめます。

【調合 3】桂皮の香りを主体にした、おとなしく控えめな香調です。自動車の中に入れるとカーコロンの替わりになります。どちらかと言うと夏向きの香りでしょう。

【調合 4】龍脳の防虫効果を利用する調合です。ただし、龍脳は比較的短時間で発散してしまいますので密閉された入れ物の中でお使いください。途中で龍脳を追加するのも良いでしょう。

これらは基本的な調合ですが、匙加減ひとつ、あなただけの香り作りもお試しになればいかがでしょう。

丁字、大茴香は油分が多いので少なめに調合してください。長時間押えつけた状態にすると油分のシミが出ます。着物などに直接触れないようご注意ください。